

◇ グループ活動

グループごとに来年度の活動について話し合い、フィールドワークとして現場を確認しました。

★植物グループ

今後の植生回復の方法について話し合いました。ドングリ以外にも種から育ててみることや、効率良く苗木を育てる方法、踏み荒らされないように移植木を利用して進入を防ぐ方法など、すぐに実践できることがいろいろあるということが分かりました。



植生回復が必要な場所は、散策で踏まれないように工夫しましょう



場所ごとの植生回復の方法確認

シェルター構造上部の管理方法を確認しました



ツル植物は、樹木の成長を妨げる可能性があるため、刈り取って管理する必要があります。

遮光フェンスの森側は、土砂流出防止柵をフェンスの近くまで移動させて、土を堆積させ、植生回復を図ります。



竹を整理した所には、新しい植物が出てきていました



★施工グループ

現地を歩いて、課題となっている箇所について対策を検討しました。今後の活動の中で、いのちの谷と2号橋梁付近では、表土の流出を防ぐための簡易ダムをつくっていくことにしました。

また、地下水位調査・湧水量調査・沢すじの浸食状況の観測などは、今後も継続して行います。

【いのちの谷】表土の流出を防ぐ簡易ダムを作っていきます！



【2号橋梁】簡易ダムは、倒木やしき（石）を使って作れそうです。



現地の課題について

植生回復とも絡めて考えていく必要がありますね



遮光フェンスの下が浸食されて隙間ができています

★交通グループ

これまでの活動内容について整理しました。交通グループでは、自転車の走行実験や近隣学区の方へのアンケートなど、様々な取り組みをしてきました。それらのデータから検討したこと、グループからの提言をもとに施工ワーキングとして決定したことなど整理して、今後の活動につなげていきます。



◇エコロードについて学ぼう

動物のエコロードの利用について、タヌキの実験状況の紹介や海外の事例など、長谷川インスペクターのお話を聴きました。

相生山で作ったエコトンネルとも結びつけて考えることができました。



★動物グループ

エコトンネル南側の斜面の植生回復のようすを見に行きました。周辺ではドングリの発芽が見られましたが、土のうを積んだ箇所では、まだ発芽が見られませんでした。

被せた落ち葉が日照の妨げになっていることも考えられるので、落ち葉を少し除去して今後もようすを見ていくことにしました。

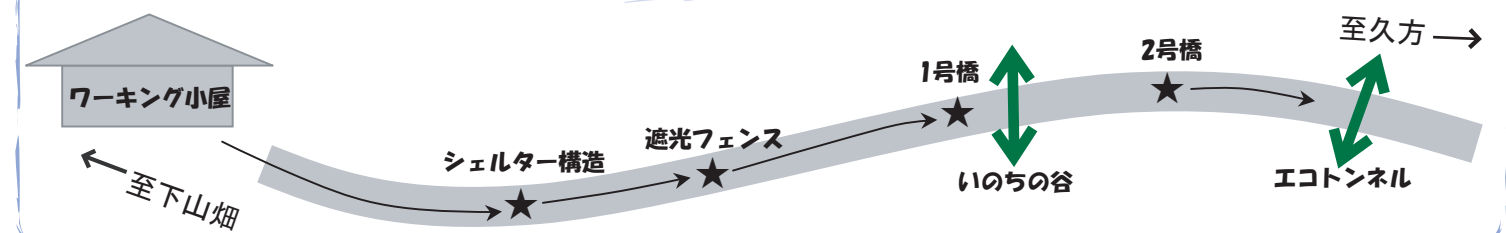
斜面は通りやすくなったかな？トンネルも通ってくれるといいですね

エコトンネル南側の斜面の状況確認



タヌキがエコトンネルを通過するかどうかについても、センサーカメラを使って確認していきます。

★フィールドワーク位置図



◇工事の進捗状況

平成21年度末までの工事の進捗状況です。

